

報道機関各位

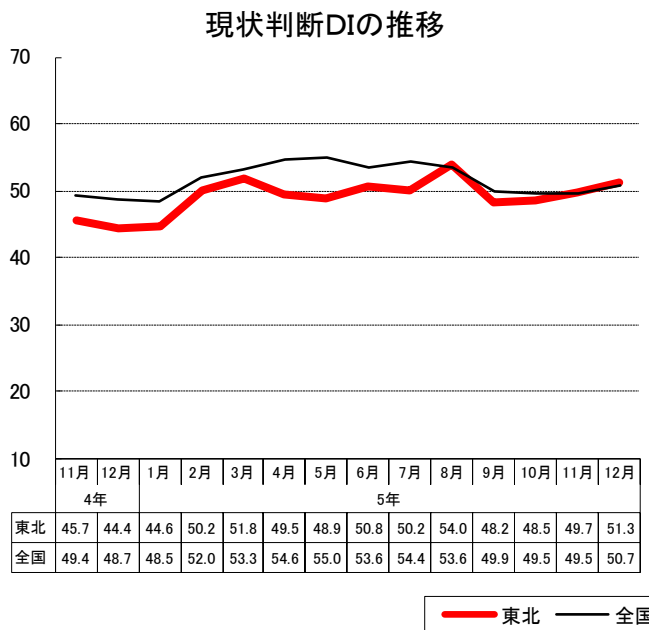
公益財団法人東北活性化研究センター
 「内閣府 景気ウォッチャー調査 令和5年12月 東北分
 (東北6県)」について

公益財団法人東北活性化研究センター（会長：増子 次郎 東北電力株式会社 会長）は、このほど「内閣府 景気ウォッチャー調査 令和5年12月 東北分（東北6県）」について、とりまとめましたのでお知らせいたします。

1. 季節調整値

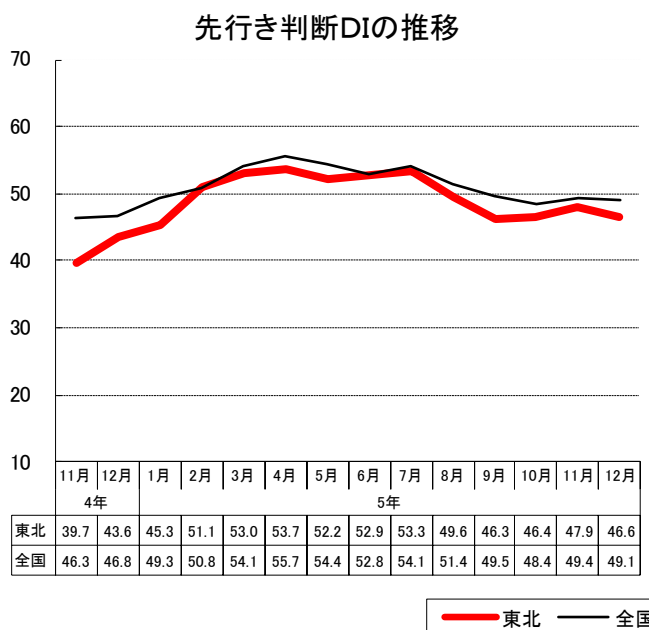
(1) 現状判断（3か月前との比較、方向性）

現状判断DIは「51.3」と3か月連続で前月を上回った。前月と比較し+1.6ポイント上昇した。



(2) 先行き判断（2～3か月先の見通し、方向性）

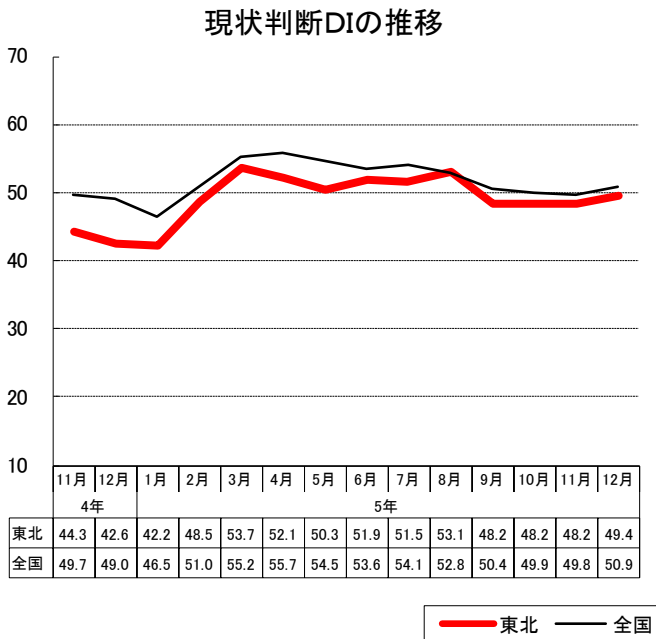
先行き判断DIは「46.6」と3か月ぶりで前月を下回った。前月と比較し▲1.3ポイント低下した。



2. 原数値

(1) 現状判断（3か月前との比較、方向性）

現状判断DIは「49.4」と前月を上回った。前月と比較し+1.2ポイント上昇した。



○家計動向関連…家電量販店、一般小売店、衣料品専門店等の業種でDIが前月を下回ったが、美容室、スーパー、一般レストラン等の業種でDIが前月を上回った。

DIは「50.7」(+1.4)と、2か月連続で前月を上回った。

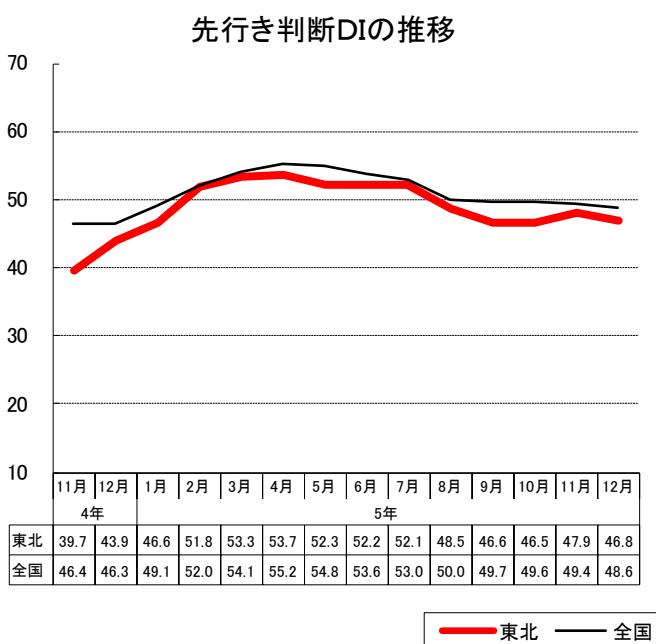
○企業動向関連…輸送用機械器具製造業、食品製造業の業種でDIが前月を下回ったが、金融業、司法書士・経営コンサルタント・会計事務所、その他非製造業[飲食料品卸売業]等の業種でDIが前月を上回った。

DIは「49.3」(+4.2)と、4か月ぶりに前月を上回った。

○雇用関連…DIは「42.1」(▲5.3)と、2か月連続で前月を下回った。

(2) 先行き判断（2～3か月先の見通し、方向性）

先行き判断DIは「46.8」と2か月ぶりで前月を下回った。前月と比較し▲1.1ポイント低下した。



○家計動向関連…都市型ホテル、一般レストラン等の業種でDIが前月を上回ったが、一般小売店、百貨店、スーパー等の業種でDIが前月を下回った。

DIは「45.4」(▲2.0)と、2か月ぶりで前月を下回った。

○企業動向関連…建設業、金融業等の業種でDIが前月を下回ったが、金属製品製造業、食品製造業、一般機械器具製造業等の業種でDIが前月を上回った。

DIは「50.0」(+3.5)と、2か月ぶりに前月を上回った。

○雇用関連…DIは「48.7」(▲5.2)と、2か月ぶりで前月を下回った。

<参 考>

■D I の推移（原数値）

（1）現状判断（方向性）D I

	4年		5年											
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
東北現状	44.3	42.6	42.2	48.5	53.7	52.1	50.3	51.9	51.5	53.1	48.2	48.2	48.2	49.4
家計動向関連	42.7	42.5	39.9	47.5	53.3	51.8	48.4	50.7	52.5	54.3	48.7	48.1	49.3	50.7
企業動向関連	45.9	41.2	47.3	50.0	55.6	51.4	50.0	52.7	48.6	54.7	50.7	48.6	45.1	49.3
雇用関連(参考)	51.3	46.1	46.1	51.3	52.6	55.3	61.8	57.9	51.3	42.1	40.8	48.7	47.4	42.1

（2）先行き判断D I

	4年		5年											
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
東北先行き	39.7	43.9	46.6	51.8	53.3	53.7	52.3	52.2	52.1	48.5	46.6	46.5	47.9	46.8
家計動向関連	37.9	41.8	45.2	51.3	51.8	52.9	50.9	51.5	50.9	49.1	46.9	46.6	47.4	45.4
企業動向関連	43.9	48.0	52.0	48.6	56.9	54.2	52.7	52.7	56.1	48.0	45.3	48.6	46.5	50.0
雇用関連(参考)	42.1	48.7	44.7	60.5	55.3	57.9	59.2	55.3	51.3	46.1	47.4	42.1	53.9	48.7

※D I（Diffusion Index）について…50 を基準とし、50 を超えると景気が良い方向にあることを示す。

■調査の概要

調査期間 令和5年12月25日～31日

回答者数 170/189 名、回答率 89.9%（全国 1,781/2,050 名、86.9%）

以 上

<お問い合わせ先>

公益財団法人 東北活性化研究センター（担当：三浦 融）
〒980-0021 仙台市青葉区中央 2-9-10
TEL：022-222-3394 FAX：022-222-3395

<別 紙>

■特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

（1）現状判断理由

○「良くなっている」

（その他サービス[自動車整備業]）…件数、金額共に好調であり、売上は前年の1.5倍の水準である。

○「やや良くなっている」

（百貨店）…3か月前は暑さのため秋物の立ち上がりが鈍かったが、今月は気温が低下したことで冬物衣料や雑貨関連の動きが良くなっている。また、美術品、宝飾品も売上を押し上げている。

（スーパー）…クリスマス期間の人出は新型コロナウイルス感染症発生前まで回復しており、24日は特に来客が集中している。家族連れでの買物が多く、内食率が高まっている。年末の帰省が増えるため、前年より支出額が増えている。

（乗用車販売店）…新規客の来場が増加している。新車の納期も前年と比べて早くなっている。また、在庫も増え即納が可能な車種もあり、売上が増えている。

（一般レストラン）…忘年会の需要が予想していたより多かったため売上が伸びている。来客数の内訳は8割が法人関係で、一般客はまだ戻っていない。

（旅行代理店）…従業員不足の問題はあるが、東北の宿泊販売は好調に推移している。オーバーツーリズムの状況までにはなっていない。

（タクシー運転手）…平日の午前は病院へ行く客が増えている。平日の午後はお歳暮の購入や年末の買い出しに行く長距離の客が増えており、客単価が上がっている。また、週末にかけては温泉街へ行く客やコンサートに行く客の利用が大きく伸びている。

（観光名所）…インバウンドの復活が景気を支えている。県内空港のチャーター便は休止中だが、近県空港のチャーター便から流れてくる客が多く、ほぼ2019年の水準に戻っている。

（美容室）…正月販売の初売り商品券の予約販売が好調である。客の再来店率は相変わらず前年比95%だが、美容関連商品を購入する客が多く客単価がアップしている。

（出版・印刷・同関連産業）…選挙関連の仕事があり、売上は前年比120%になっている。

（建設業）…民間大型案件を受注している。

（金融業）…全般的な物価上昇が消費マインド改善の足かせとなっている部分はあるものの、人流回復が進み観光宿泊、飲食で改善がみられる。設備投資に関しては、資材高騰の影響は続くものの、特に機器製造業等では企業の業況回復に伴い設備投資意欲も復活の兆しがある。

（その他非製造業[飲食料品卸売業]）…仲間内での忘年会や飲み会はコロナ禍の頃に比べて回復している。一方で、法人は規模の大きな忘年会は少なく、小規模化している。また、席数の多い飲食店は新型コロナウイルス感染症の影響で閉店後再開していない。そのため、元の状態まで戻ることは難しい。

○「変わらない」

（コンビニ）…コロナ禍が明け、来客数は前年比で増加傾向にあるが、商品の値上げや光熱費の上昇により、消費はそれほど盛り上がっていない。特に日用品やたばこ、コーヒー等の嗜好品の動きが悪く、支出を調整している家庭が多いことが推察される。

（観光型ホテル）…忘年会を開催する企業が増えている。しかし、開催しない企業もまだあるため来客数はやや少ない。

（競艇場）…来場者数は多少増えているが、売上は伸びていない。

(食料品製造業)…価格改定に踏み切っても飲食店のにぎわいは変わらず、好調を維持している。一方、ギフト商戦は実店舗、通販とも前年を下回っている。飲食メニューも物販も高価格帯と低価格帯の2極化した購買行動が特徴的である。

(経営コンサルタント)…ターミナル駅や繁華街の人出は増えている。行列のできる店が復活する一方、閉店する店もあり、消費者による選別がより厳しくなっている。

(人材派遣会社)…市況感は業界によって良い悪いが2極化している。自動車や半導体製造装置関連は来期に向けて増員傾向である。一方で、携帯電話向けなどを最終製品とする業界や家電業界関係では抑えめの採用に動いている。伸ばしていく領域に対しての人材の投資は進んでいるため、その点は前向きである。

(民間職業紹介機関)…前月と状況は変わっていない。しかし、今後、大手自動車メーカーの不正問題の影響が出てくる可能性もあり、緊張が走っている。

○「やや悪くなっている」

(一般小売店[雑貨])…12月に入っても本格的な寒さはなく、使い捨てカイロや、中綿入りコートなど例年なら売れている商品が売れていない。利益を出す前に冬物セールに入らなければならない状況である。

(衣料品専門店)…例年この時期は初売り前の買い控えの傾向がみられる。今年はその傾向が更に強くなっており、セールに敏感になっている。足元は厳しい状況にある。

(家電量販店)…12月に入り冬らしい気温まで下がっているが、季節商材の購入客を含めて来客数が減っている。例年であれば、ボーナスが支給され、購入に至らないまでも初売りに向けて希望商品の下見に来店する客が増える時期だが増えていない。

(その他専門店[ガソリンスタンド])…暖冬の影響と物価高により、灯油、スタッドレスタイヤが大きく前年割れしている。

(その他小売[ショッピングセンター])…2018年比で見ると売上は100%、来客数は93%となっている。飲食及び食品部門はおおむね堅調だが、ファッションを中心とした物販部門は来客数の回復が鈍い状況である。物価高による商品単価上昇の影響とみている。

(通信会社)…物価高による経費削減の話が多くなっている。

(設計事務所)…新築案件の発注量が減少し、受注へ向け各社競争が激化している。この傾向が出始めると落札価格が低下し、ダンピングが始まる要因の1つとなる。

(輸送用機械器具製造業)…年末年始特有の駆け込み受注はあったものの、全体では受注の取り込みが悪く、計画の受注量には届いていない。

(職業安定所)…新規求人数が4か月連続で前年同月を下回っている。

(2) 先行き判断理由

○「やや良くなる」

(都市型ホテル)…賀詞交換会や新年会の受注件数が増えている。また、歓送迎会、謝恩会等の先行予約も好調である。

(新聞社[求人広告])…県内に海外企業の半導体工場の誘致が決まり、様々な情報が飛び交い始めており、今後、大きなビジネスチャンスが訪れるとみている。求人活動は確実に活発化するため、大いに期待している。

○「変わらない」

(一般小売店[酒]) …年度末にまた酒類の値上げが実施される。それがどこまで消費者の購買意欲に影響するかという不安がある。横ばいで推移することはあっても、好転する要素は見当たらない。

(百貨店) …食料品は吟味や買い控えが続く。衣料品は回復傾向にあるが暖冬予測を踏まえると売上が大きく伸びることはなく、総体的には大きい変化はないとみている。

(その他専門店[酒]) …景気は若干上向きではあるが、これから値上げ等の負の要素が出てくる可能性もあり予断を許さない状況である。大きく改善することはないとみている。

(食料品製造業) …現状を好転させる要素はなく、販売量は現状維持が精一杯とみている。依然、原材料価格の値上げは続いており、収益の悪化も見込まれる。

(金属製品製造業) …顧客の話から、やや悪い状況がしばらく続くとみている。

(一般機械器具製造業) …半導体の在庫調整が想定よりも長引き、注文見込みの計画が後倒しになっている。

(建設業) …年度内に生産施設を始め、一定量の受注契約を見込んでいる。

(輸送業) …当社の場合、国内輸送も海外向け輸送も減少している。プラス要因が見当たらないなか、政治資金問題や大手自動車メーカーの不正問題が新たなマイナス要因となって、景気にも多少なりとも影響があるのではないかと危惧している。

(通信業) …最近では物価高騰による値上げは受け入れられつつあり、提案依頼は増加しているものの、最終的な購入には至らない案件が多い。

(金融業) …個人消費は堅調推移が期待される。一方、当県の主要産業である水産業と水産加工業においては、主要魚種のほとんどで何かしらの問題が顕在化していることから、今後も資金繰りを始め、業況推移に注意が必要である。農業も夏の高温被害の影響から品質を落としている製品がある。

(人材派遣会社) …求人数が思ったより伸びていない。中小企業を中心に賃上げのペースは遅く、物価上昇に追い付いていない。インバウンドを中心に潤っているところとそうでないところの格差が広がっている。

(職業安定所) …人手不足が続いているため、企業の採用意欲は高く、採用や離職防止のために労働条件を改善する動きが多くみられる。この状況は継続するとみている。

○「やや悪くなる」

(スーパー) …年明けは食料費の節約志向が強まると予想しており、現状のように客単価の上昇による売上の維持は厳しくなるとみている。

(乗用車販売店) …大手自動車メーカーの不正問題で風評的な声も少なからず存在しており、現場店舗からは今後の商談への影響を懸念する声が多く聞かれる。

(一般レストラン) …1月2月は例年雪による影響で繁華街は人の往来が少なくなる。3月後半になれば歓送迎会等に受験生を家族にもつ客が戻ってくることを期待している。

東北地域に関する解説は、当センターの責任でまとめたものです。

以上